

Circle A

七
七
七
七
七
七
七



成人向



※この本には著しく不愉快な表現が
含まれていないかもしれません。



え えっと……
4日も向があいてち
ってごめんち
エリオ

……
……
……
……
……
……
……
……
……
……



エリオ……
入ってもいいかな？

あ！はい
どうぞー

ミッドチルダ
時空管理局営病院



あと2日か……
シャマルの手に余るような
大怪我をした時には本当に
心配したんだけど……
うん……良かった

……
……
……
……
……
……
……
……
……
……



もうっ…… へが人が
どんなふうにも気を遣いな
くてもいいんだよ

すいま……
わがかりました
どうやってもらいます



ああ やっぱり
フェイトさんは良い人に
がす……
うッ いけないいけない



エリオ...

何でも……
ありません
ほぐさ 何でも……



どうしたの？
私の顔に何が
ついてる？

えっ！？
いえっ……
ちよっとポーツと
していただけであ
りゃっ！



わえ……

エリオの身体
試いてあげたいんだ
けど……
どうかな？

そんな いいですよ
る日にしゅ 看護士
さんにやってもらっ
ていますしっ……



大丈夫
ケガしてる脚には
気を付けるから。

く 臭かったら……
ごめん……ななこ……

だったら余計に
拭かないと だわ



シャワー

ばいばい

ばいばい



エリオ！

貴方のどっかうと……
も私は好きだよ
でもね 最近では以前みた
いに寝ってもらえなくて
ちよっと寂しいんだよ

あ いやっ
ちよっと……？

にこにこ……

もっと……

なんて言ったらいいの
かな……
気をね 気を遣いたいの
だから わ？ ほぐ

フェイトさん



「あんなに可愛いわ...
分かりますか？」

「アス...アス...」



「いつまでたっても...」

「一人の男として
見てもくれない
じゃないですかッ！」



「ちゅっとなんて
いいけど...
なんでもないわ...」

「分かった
分かったよ
貴方の私を見る目が
変わった目が
だからずっとおちついてた」



「エリオはやさしいけど
同じく...
なごだわ」

「全然分かってないよ
いろくさん」



「...け...
貴方の名前...
貴方と私とキヤロの
関係を壊...」

「分かってます...
分らないはずない
じゃないですか...
何十回も何百回も
ずっとなんでも
分りますかッ！」

エリオ 頭の中は
まだ……子ども
だもの

……そんな
僕を立派な大人
にして下さい

ふふふ……

そんなことをしたって
頭の中が大人になんか
ならないよ……

……じゃあ
大人らしくならなく
ていいので 貴女の
一番にしてください

今日のエリオは
変いコだ……

……ありがとうおねだり



へたくそ……だわ

フエイトン……

く……

キカロ……
キカロ……

っ……

ふは……

っはッ……
じゃあ
脱ぐ……わ……

あ……
ちゅ……





……と……と……

キョー………んち
すっく……

キョロ 本当にごめんね
あなたのことでも大平だけど
私 エリオに嫉妬してる
かもしれないのが怖いの……

エリオも余計なものさ
おしとやえぼせっと
お静におちんち
とつしたのぼせぼせと
んちのニんぎょ……

キョロ……



だから賢いキョロは
理解してくゆるよわ……
仕方ないことだって
仕方ないことだって

あーえーっと
たしかこういう時は
まづ……ます……

ほんと……
エリオはまだまだ
お子様だね……

……大丈夫
後は全部私に任せて
できるだけ良くして
あげるから

えっ！？
とっ！……

……
ダメじゃない



あえん...
ふぁうあー!
あひこ...あ...



私はキャロのことか
ぼましく見ながら
シてるんだよ...



ハカハカ...
エリク...



うあッああ...
くあが...ッあ...

熱く...なっ...
た...った...



おーおー
おーおー
おーおー
おーおー
おーおー
おーおー
おーおー
おーおー
おーおー
おーおー



うえっぶは...

熱い...し...
臭いし...こんなんにも
...濃...い...



あうう...

エニオのさく...
ファン...いやん...
...



エニリオ?
えっ...ち...
まっ...

た...
...

い...
...



しもが...ダメだよ
顔にも髪にもこんなん
に出してえ...
...

.....
...



エリオはキキッしている
しだから かつたがなく
ても 私かちゅんど
リードして...

チャッ...

いりかき
んじゅら...

僕は 一人の男として
貴女を手に入れたいん
ですー！
.....恥をかかせない
でくだないよ...

.....
キキキキキキ...
キキキキキキ...

えっ...あッ...

キキキキキキ...



キキキ キキキ...
フェイトキキ...
すんくキキ...

.....りおキキキ
キキキキキ...

な なにんこキキ...
痛くて熱くて変な
感じだよ...

キキキ...
あのフェイトキキの
あのフェイトキキの
腔内に僕のキキ...
僕の...キキ...

キキキ

キキキ

キキキ

キキキ

あッあッ...
すげーこや...

あッ あああ
いいですッ！
フェイトさんの
絡めつつ.....

うぐ.....

すげーすげーこです...
フェイトさんのヒダが
僅のを必死にキめてき...
あッ... あやばい
はっ あッ... こやエ

たろ

たろ

しゅわん

しゅわん

しゅわん



キツくてキツくてエ...
え あ...こんな...
手なしかじゃも...
...くンキナ...

あああ あああ...
ああ...んああ
ッあああ...んあ
ああああ.....

しゅわん

しゅわん

ヤハミ---

たろ

たろ

しゅわん

ふはあハ---

しゅわん

ツハ---



この画面は...
男性の身体に...
その感覚は...
あんなに...

フエイトハッ...
.....
.....

あッあッあッ

あッあッあッ

あッ



あッあッ...
あッあッあッ...

あッあッ

.....
.....
.....

あッあッ

カッ...
怪我して...
.....



あッ

あッあッあッ

あッ

私...
ぶっけてくるエリオを...
.....

エ...
.....



あッあッあッ

.....
.....
.....

.....
.....
.....

は...
あッあッあッ
あッあッあッ
あッあッあッ...

ケガが軋又……
……けど もう痛ま
ななくて……うごてもい
……いや……

あうあう……

……だ 駄目エ
エリオを……な……
駄目エ……絶対……

ああん……
す……あ……

じい
や
ぱ

じい
や
ぱ

とちがリッ もっと
もっと見にいふ
イトナシの思にい……
キ……たいッ……

じい
や
ぱ

じい
や
ぱ
ハハハハ
……ン……

……だ……

もっとオ もっと
行きますか……
えぐり……が……

フエイイトウ
アすあ……
どうですッ！
どうぞエツ……

あつッ……
エリイオオオ
エリイイ……

じい
や
ぱ

フエツ……フエイ……
フエイトウああ
イトナッ……

じい
や
ぱ

じい
や
ぱ

じい
や
ぱ

本当に……エリオが更く
ないんだよ……

……リオ……
うわ……
……



フエイ……フエイ……
母さん……えん……
んあ……

……きゅーん……

……きゅーん……

……きゅーん……きゅーん……
……きゅーん……きゅーん……



あ……うあ……

うえ……あ……

あ……うあ……
あ……うあ……
あ……うあ……



う……ぐう……

……きゅーん……

え……きゅーん……
あ……うあ……
あ……うあ……
あ……うあ……



あ……うあ……

いぐっ……

エリ……オ……の……
奥……ふ……
あ……あ……

ぶっ
しゃ
あ

あ……あ……

あ
あ……

ど……せ……り……
エリオのが……あのエリオのが
私の胸の……サ……

いぐっ
いぐっ
いぐっ

いぐっ
いぐっ

う……

ず……… 全然止まらない……
溢れる 溢れてきた……
胸がエリオの子種で熱い……

ふ……

いぐっ

いぐっ

いぐっ

いぐっ
いぐっ
いぐっ

いぐっ



あとがき

はじめましての方ははじめまして。どうぞない方はお久しぶりです。
この度は『ちとちんちん』をお持ち帰り下さり大変どうもでした。
1年ぶりのフェイト、1年ぶりのリリカルなのは本だったのですが
かどんなもんだったでしょうが？なんかこう、暗い感じに作って
たかっただけですが、ちゃんと暗そうな感じが出ているでしょうが？
漫画の構成云々は昔からまるでできる気がしないので、とても描け
ているような気がします。絵も髪の塗り方というか、影の付け方
を変えてみたので、怪しいなあ、って感じです。

それにしても、エ○オ……描いていて、すげえスツーライトブレイ
カーがまじたくなくてきましたわ。全カ全向で。NTRてる感がす
ごく、萎えながら描いてましたよ、ほんと……。

まあ、何でもいいので、良いと思っただけるところがいつでも
あればそれでいいです。ありがたいものです。

特に今回、この本の製作終盤には日本史上最大規模の地震が東日本
を襲い、甚大な被害を出したこともあって、東日本人に少しでも
良いと思っただければ嬉しい限りです。明るくポップな感じで
はないのか申し訳ないところですが。

次は、たぶん、「暗い感じの魔法少女アニメ」本です。でなければ、
某春アニメだと思えます。まあ、まだ確定ではないのですが。

んでは、またがあればまたお会いしましょう。

A. Sヘルメス

おくづけ

発行日：2011年3月20日

著者：A. S. ヘルメス

発行：Circle A

blog：おわりのくに（<http://ashermes.blog10.fc2.com/>）

印刷所：株式会社 栄光

無断転載、無断複製、またはそれに類する行為は法律で禁止されています。

本誌の日本国内での18歳未満の閲覧は、法律・条令云々で禁止されているので、作者のためにも閲覧しないでください。
本誌内で性交渉を行なっている登場人物は、皆、「非実在成年」です。

本誌は、刑罰法規に触れる性交もしくは性交類似行為または婚姻を禁止されている近親間における性交もしくは性交類似
行為を、不当に賛美または誇張するように、描写または表現したり等はしていませんし、その意図も一切ありません。

Circle A

今 僕と契約して
魔法少女になれば
もれなく魔王になれるよ
なんとなくただけど
新参のあいつとの契約より
よっぽどいい条件だと
思わないかい
さあ 今すぐ僕と契約して
さあっ
けいやく



…ちなみに
クーリングオフの
対象外だからね

成人向